

■新旧対照表（内容の変わらない修文を除く）

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
全体		奇数ページにフッター追加（〔章〕+〔§〕番号）	ページ番号	(4)議会-2
序章	2	<p>〔1 千代田区都市計画マスタープランとは〕 千代田区では、都市計画マスタープランを平成10（1998）年3月に策定しました。「都心を楽しみ、心豊かに住まうまち」「都心に培われた魅力を高め、共に未来へ歩むまち」を将来像としてまちづくりに取り組んできましたが、策定後20年余が経過し目標年次を迎えています。</p> <p>そうした中、少子高齢化や都市インフラの老朽化などまちづくりを取り巻く内外の環境の変化が進むとともに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延による、人々の住まい方・働き方、さらにはその生活への意識などの価値観に変容が起きています。</p> <p>これらの変化・変容に対応し、そして、新型コロナウイルス感染症の蔓延からの持続可能な回復（サステナブル・リカバリー）を目指して、都市計画マスタープランを改定します。</p>	<p>〔1 千代田区都市計画マスタープランとは〕 千代田区では、都市計画マスタープランを平成10（1998）年3月に策定しました。策定後20年が経過し、まちづくりを取り巻く内外の環境が変化するとともに目標年次を迎えていることから改定する運びとなりました。</p>	(1)聴取-106 (4)部会-7
序章	2	<p>〔改定千代田区都市計画マスタープランが示すもの〕 ◇超高齢社会、ゼロエミッション都市の環境・エネルギー、巨大地震や気候変動に起因する異常気象への対応、新たなコミュニティの醸成など、未来への都市の進化の要素を実装する手がかり</p>	<p>〔改定千代田区都市計画マスタープランが示すもの〕 ◇移動、環境・エネルギー、災害対応、コミュニティなど、未来への様々な進化の要素をまちづくりに実装していくための手がかり</p>	(1)聴取-28 (4)議会-3

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
序章	4	〔5 計画改定の目的〕 また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の先の社会の変化や、新たな感染症などの危機への対応も見据え、～（省略）～たゆまぬ進化を続けていきます。	〔5 計画改定の目的〕 また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の先の社会の変化を見据え、～（省略）～たゆまぬ進化を続けていきます。	(1)聴取-106 (4)議会-4
序章	5	〔社会と都市の課題の高度化・複雑化〕 ～誰一人取り残さない持続可能な世界・社会の原則の中で～ 国連総会での SDGs（持続可能な開発目標）の採択を契機に、「誰一人取り残さないことを原則とする世界・社会の実現」が強く意識されています。様々なひとが住み、働き、活動する都心でも、大規模災害への備え、エネルギー利用、脱炭素社会への進化などの都市課題とあわせて、この原則のもと、いかにして次世代のライフスタイル・ワークスタイルを豊かで持続可能なものにしていくかを考える時代になっています。都市経営や企業活動などにおいても、様々なアプローチで課題解決のチャレンジが始まっており、こうした力を活かした創意工夫と連携が一層重要になっています。	〔社会と都市の課題の高度化・複雑化〕 国連サミットにおける SDGs（持続可能な開発目標）を強く意識する社会の中で、大規模災害から復興への事前準備、深刻化するエネルギー問題への対応、脱炭素社会への進化など、社会・都市で取り組むべき課題が高度化、複雑化しています。	(4)議会-5
序章	6	〔改定の背景〕 ・社会の変容に対応して加速するまちづくりの進化 新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なひとの意識や価値観が大きく変化しました。東京郊外や地方都市との関係、都心での働き方・住まい方、ひとの集積・活動のあり方、オフィスの役割、安心して豊かに過ごせる公共空間の役割や可能性などが見直されてきており、住宅やオフィスをはじめとする都市機能の量的な集積から質的な集積へと考え方を転換していくことが求められています。 これを受け、既に動きを見せている都市のスマート化、～（省略）～が一層加速していくことが予測されます。	〔改定の背景〕 ・社会の変容に対応して加速するまちづくりの進化 新型コロナウイルスの影響により、様々なひとの意識や価値観が変化し、東京郊外や地方都市との関係、都心での働き方、ひとの集積・活動のあり方、オフィスの役割、安心して豊かに過ごせる公共空間の役割や可能性などが見直されています。 同時に、社会の変容を見据えて、都市のスマート化、～（省略）～が一層加速していくことが予測されます。	(1)聴取-106 (4)部会-8

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第1章	17	〔魅力価値4〕 楽器店街 	〔魅力価値4〕 	(1)聴取-59・60・61・62
第1章	20	〔(2)まちづくりの主な成果〕 ◇開発と連動した防災性の向上と環境・エネルギーなどの都市基盤の充実 耐震化や防災備蓄倉庫の整備が進みました。また、一次エネルギーの消費削減を促す環境配慮型の建築誘導、地域冷暖房やコジェネレーションシステム等による面的エネルギー利用などが進んでいます。	〔(2)まちづくりの主な成果〕 ◇開発と連動した防災性の向上と環境・エネルギーなどの都市基盤の充実 耐震化や防災備蓄倉庫の整備が進みました。また、一次エネルギーの消費削減を促す環境配慮型の建築誘導や地域冷暖房システムの導入によるエネルギーの面的利用などが進んでいます。	(1)聴取-2
第1章	21	〔まちや都心生活の「質」(=QOL:Quality of Life)の向上につなげる〕 今後は、社会や都市で起こる大小様々な変革の中で、 感染症拡大を含む都市のリスクへの柔軟な対応と都心の価値ある経済・社会活動を両立させ、人々が享受するまちや都心生活の「質」(QOL)の向上につなげていくことが求められています。 本計画では、歴史に培われた都心の魅力と多様性や、 都市の持つ集積のメリット を活かしながら、次世代において、 <u>～(省略)～まちづくりを進化させていきます。</u>	〔まちや都心生活の「質」(=QOL:Quality of Life)の向上につなげる〕 こうした変化の中で、今後は、歴史に培われた都心の魅力と多様性を活かしながら、社会や都市で起こる大小様々な変革に対応し、まちや都心生活の「質」(QOL)の向上につなげていくことが求められています。 本計画では、歴史に培われた都心の魅力と多様性を活かしながら、次世代において、 <u>～(省略)～まちづくりを進化させていきます。</u>	(1)聴取-106
第2章	29	〔基本方針1〕 〔 量から質へと転換したまちづくりを進め、 地域にあった多種多様な 手法 を戦略的に展開〕 地域の資源・魅力を守りながら、 質的に成熟したまちづくりを進めていきます。	〔基本方針1〕 〔地域にあった個別建替えや開発、多種多様な機能更新などを戦略的に展開〕 地域の資源・魅力を守りながら、住宅の量から「質」に転換したまちづくりを進めます。	(1)聴取-42・84・106 (4)部会-8

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
		地域特性や課題を踏まえ、 量のみによらない住宅・オフィスの高機能化・優良化 や街並み・環境と調和した個別建替え、まちに多様性と創造性をもたらすリノベーション、建物の長寿命化、課題解決に貢献する開発事業など、地域の十分な協議のもとでバランスよく まちづくり の手法を組み合わせています。 これにより、 界隈の個性と魅力の持続性を最大限に引き出していきます。	また、地域特性や課題を踏まえ、街並み、環境と調和した個別建替え、まちに多様性と創造性をもたらすリノベーション、建物の長寿命化、課題解決に貢献する開発事業など、地域の十分な協議のもとでバランスよく機能更新の手法を組み合わせ、 界隈の個性と魅力の持続性を最大限に引き出していきます。	
第2章	35	〔都市機能連携軸〕 今後の自動車交通と土地利用の動向を見据え、 <u>～（省略）～</u> 、緑化の誘導、 歩きやすいまちづくり などにより、都心の機能連携と環境創造を進めていきます。	〔都市機能連携軸〕 今後の自動車交通と土地利用の動向を見据え、 <u>～（省略）～</u> 、緑化の誘導などにより、都心の機能連携と環境創造を進めていきます。	(1)聴取-6・7
第2章	37	〔B3 有楽町駅周辺〕 丸の内や日比谷、銀座（中央区）をつなぐ拠点として、駅周辺の滞留空間や 東京高速道路の再生を含めた 歩行者空間のネットワーク、商業・文化交流などの多様な機能を充実させていきます。	〔B3 有楽町駅周辺〕 丸の内や日比谷、銀座（中央区）をつなぐ拠点として、駅周辺の滞留空間や歩行者空間のネットワーク、商業・文化交流などの多様な機能を充実させていきます。	(4)その他-1
第2章	37	〔C2 飯田橋駅周辺〕 牛込見附跡の歴史性や外濠・日本橋川などの <u>～（省略）～</u> 、都心生活を豊かにする拠点機能や居心地よく 「新たな日常」に対応できる 空間の充実を進めていきます。	〔C2 飯田橋駅周辺〕 牛込見附跡の歴史性や外濠・日本橋川などの <u>～（省略）～</u> 、都心生活を豊かにする拠点機能や居心地のよい空間の充実を進めていきます。	(1)聴取-106
第2章	37	〔C3 九段下駅周辺〕 国の機関や千代田区の中核的な行政機能、医療・福祉・業務施設が集積する拠点機能を維持し <u>～（省略）～</u> の回遊が楽しめる環境を充実させていきます。 駅周辺では、「新たな日常」に対応できる空間の充実を進めていきます。	〔C3 九段下駅周辺〕 国の機関や千代田区の中核的な行政機能、医療・福祉・業務施設が集積する拠点機能を維持し <u>～（省略）～</u> の回遊が楽しめる環境を充実させていきます。	(1)聴取-106

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第2章	40	〔▶ 戦略的先導地域〕 個別の建築・開発にとどまらず、一定の広がりでもちづくりの機運による連携の可能性が高まっていたり、道路や河川などの都市軸の中で連携が必要とされたりするエリアを戦略的先導地域として位置づけます。	〔▶ 戦略的先導地域〕 個別の建築・開発にとどまらず、一定の広がりでもちづくりの機運や連携の可能性が高まっているエリアを戦略的先導地域として位置づけます。	(1)聴取-58・68・87
第2章	40	〔戦略的先導地域（図）〕 楽器店街の文字追加	〔戦略的先導地域（図）〕	(1)聴取-59・60・61・62
第2章	40	〔神田駅周辺～神田錦町一帯の地域〕 ◇下町らしさを感じる文化やひとのつながりを育むように、神田警察通り沿いの都市機能やオープンスペースの連続性・相乗効果を強めるとともに、東西南北の回遊性を向上させるまちづくりを展開	〔神田駅周辺～神田錦町一帯の地域〕 ◇下町らしさを感じる文化やひとのつながりを育むように、神田警察通り沿いの都市機能やオープンスペースの連続性・相乗効果を強めるまちづくりを展開	(1)聴取-69・83・85
第3章 テーマ1	45	〔未来・世界へとつながる〕 ◇アフターコロナに対応した生活環境の充実	〔未来・世界へとつながる〕	(1)聴取-106
第3章 テーマ1	47	〔（3）これからのまちづくりの視点・論点〕 ○感染症への対応や耐震化、低炭素・スマート化等、住宅の質の向上と高経年マンションの機能更新・適正管理	〔（3）これからのまちづくりの視点・論点〕 ○住宅の低炭素化・スマート化や高経年マンション適正管理・耐震化	(1)聴取-10・106
第3章 テーマ1	47	〔（4）これからのまちづくりの課題〕 〔○人口増加、特にファミリー世帯の増加、高齢化に対応した高質な居住環境の充実〕 定住人口や住宅戸数などの量的な回復基調の中で、今後は、～（省略）～、まちに長く住み続けたい魅力や価値を高め、持続させていくことが重要です。 また、新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機として、職・住が融合した居住環境の整備や、身近なオープンスペースの拡充・有効活用を進めていくことも必要となっています。	〔（4）これからのまちづくりの課題〕 〔○人口増加、特にファミリー世帯の増加、高齢化に対応した高質な居住環境の充実〕 定住人口や住宅戸数などの量的な回復基調の中で、今後は、～（省略）～、まちに長く住み続けたい魅力や価値を高め、持続させていくことが重要です。	(1)聴取-9・106 (2)公述-4

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第3章 テーマ2	53	<p>〔未来・世界へとつながる〕</p> <p>◇国内にとどまらず、世界中のひとから親しまれる都心の豊かな環境</p> <p>◇生物多様性を支える持続可能な環境と周辺のまちへの空間のつながり、広がり</p>	<p>〔未来・世界へとつながる〕</p> <p>◇国内にとどまらず、世界中のひとから親しまれる都心の豊かな環境</p>	(4)部会-11
第3章 テーマ2	55	<p>〔（3）これからのまちづくりの視点・論点〕</p> <p>○緑や水辺空間などの多様な機能が連携するグリーンインフラの整備</p> <p>○サードプレイスなど、都心生活の質を高める空間の創出（プレイスメイキング）</p> <p>○建物低層部や建物周囲の空地、道路・公園等、まちを歩くひとの目線（グランドレベル）</p> <p>○建物と道路・公園の緑の繋がり、屋上・テラス等からの眺望など立体的な緑の連続性</p>	<p>〔（3）これからのまちづくりの視点・論点〕</p> <p>○緑や水辺空間などの多様な機能の連携（グリーンインフラ）</p> <p>○サードプレイスなど、都心生活の質を高める空間の創出（プレイスメイキング）</p> <p>○まちを歩く目線で豊かさを感じる空間と立体的な空間の連続性</p> <p>（建物低層部、建物周囲の空地、道路・公園等の公共空間、外部空間と連続する建物低層部の空間、屋上・テラス等眺望を楽しむ空間など）</p>	(1)聴取-11・106 (2)公述-6・16・47・57・60
第3章 テーマ2	55	<p>〔（4）これからのまちづくりの課題〕</p> <p>○皇居等の大規模な緑や水辺と連続性の高い身近で質の高い空間の創出</p> <p>皇居や内濠、外濠等の江戸城の遺構や日比谷公園、靖國神社など、歴史的価値のある大規模な公園・緑地や水辺を骨格とし、これらを保全しながら、骨格軸から周辺のまち、ひいては区境を超えて豊かな環境が広がっていくようにしていくことが重要です。</p> <p>そのため、これらの緑・水辺の骨格に付随するグランドレベルの空間等の創出とともに、公園・緑地や河川・濠、道路、開発等によって生まれる民有の空地など、身近で多様な質の高い空間を創出し、連続性を高めることで、緑・水辺のネットワークを広げていく必要があります。</p>	<p>〔（4）これからのまちづくりの課題〕</p> <p>○皇居等の大規模な緑や水辺の連続性の高い身近な空間の創出</p> <p>皇居や内濠、外濠等の江戸城の遺構や日比谷公園、靖國神社など、歴史的価値のある大規模な公園・緑地や水辺を活かし、都心・千代田が国内外から訪れるひとに愛されるように、都心ならではの快適な環境を次世代に継承していくことが重要です。</p> <p>また、公園・緑地や水辺、道路、開発等によって生まれる民有の空地など、身近で多様な空間の連続性を高めて、まちに潤いをもたらす、心地よい風が通る空間を広げていくことが重要です。</p>	(4)部会-10 (4)議会②-2

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
		<p>○都心生活の魅力・価値を一層高める空間の維持管理と活用 まちの魅力・価値を更に一層高めるため、～（省略）～豊かさ を感じられる質の高い空間を増やしていくことが重要です。 さらに、空間はつくるだけにとどまらず、～（省略）～魅力を高め ていけるよう、ガイドラインを策定することなどにより創意あふれる維 持・管理、活用を進めていく必要があります。</p>	<p>○都心生活の魅力・価値を一層高める空間の維持管理と活用 まちの魅力・価値を更に一層高めるため、～（省略）～豊かさ を感じられるような場所を増やしていくことが重要です。 さらに、空間はつくるだけにとどまらず、～（省略）～魅力を高め ていけるよう、創意あふれる維持管理や活用を行っていくことが必要 です。</p>	
第3章 テーマ2	56	<p>(方針2) ★緑や水辺に沿って大規模開発等により創出する空地などは、ひ とが歩く目線でうるおいを感じ、居心地や使い勝手がよく、周辺の 空地や道路・公園などの公共空間等の緑と一体的にデザインさ れるようにしていきます。 ★建築・開発を通じて潤いを感じる壁面・屋上などの立体的緑化 を推進するとともに、緑の眺望空間を創出していきます。 ★日常生活を豊かにするスポーツや健康づくり、アート活動などを行 える身近な場所を充実させていきます。 ★建築・開発において、公共空間や周辺の空地などと連続性の高 い協調的な空間創出を進めていきます。 ★都心における貴重な水辺空間である、日本橋川や神田川沿い の敷地のポテンシャルを活かすため、川沿いのまちづくりガイドライ ンの策定を検討します。</p>	<p>(方針2) ★緑や水辺に沿って大規模開発等により創出する空地などは、ひ とが歩く目線でうるおいを感じ、居心地や使い勝手がよく、周辺の 空地や公共空間等と一体的にデザインされるようにしていま す。 ★潤いを感じる壁面・屋上などの立体的な緑を増やしていきます。 ★ランニングやウォーキングをはじめ、日常的にスポーツや健康づくり を行える身近な場所を充実させていきます。 ★建築・開発において、公共空間や周辺の空地などと連続性の高 い協調的な空間創出を進めていきます。</p>	<p>(1)聴取-11・ 12・13 (2)公述-6・47・ 57・60 (3)交換-34 (4)部会-2</p>

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第3章 テーマ2	57	<p>(方針3)</p> <p>★ランニングやウォーキング、アート活動、子どもの遊び、ペットの散歩など～(省略)～空間のマネジメント手法の多様化を図ります。</p> <p>★国際交流やアート活動など、都心の魅力あるアクティビティを誘発し、～(省略)～空間活用を充実させていきます。</p> <p>～(省略)～</p> <p>★まちづくり等の機会をとらえ、未開設の都市計画公園の開設や地区施設の公園等の整備について、検討を進めています。</p> <p>★緑や水辺など都心の豊かな空間を充実させていく様々な手法・制度を効果的に活用していきます。</p> <p>★北の丸公園・皇居外苑・日比谷公園などの区域で構成される「都市計画中央公園」において、複数の管理主体が一体的な管理・活用が図れるよう連携を図ります。</p>	<p>(方針3)</p> <p>★ランニングやウォーキング、子どもの遊び、ペットの散歩など～(省略)～空間のマネジメント手法の多様化を図ります。</p> <p>★都心の魅力あるアクティビティを誘発し、～(省略)～空間活用を充実させていきます。</p> <p>～(省略)～</p> <p>★市民緑地認定制度、緑の認定制度(SEGES)等、緑や水辺など都心の豊かな空間を充実させていく様々な手法・制度を効果的に活用していきます。</p> <p>★都市計画中央公園は、複数の管理主体が連携し、一体的な管理・活用を進めていきます。</p>	(1)聴取-12・13 (4)その他-2
第3章 テーマ2	61	<p>〔3 主体別の取組み〕</p> <p>企業</p> <p>◇建築・開発の計画・構想段階から緑の量や居心地のよさ、地域での使い勝手を考慮した空間、生物多様性を支える自然度の高い空間の創出</p>	<p>〔3 主体別の取組み〕</p> <p>企業</p> <p>◇建築・開発の計画・構想段階から緑の量や居心地のよさ、地域での使い勝手を考慮した空間の創出</p>	(4)部会-11
第3章 テーマ3	63	<p>〔ひと・まち・コミュニティがつながる〕</p> <p>◇周辺区の行政境を越えた個性ある界隈の回遊性</p>	<p>〔ひと・まち・コミュニティがつながる〕</p> <p>◇周辺区も含めた個性ある界隈の回遊性</p>	(4)議会-11
第3章 テーマ3	66	<p>〔方針3〕</p> <p>★都心ならではの文化的風景、まちの雰囲気を楽しめるよう、歴史ある祭礼や古書店街など、生業の集積が醸し出す界隈の個性を継承していきます。また、界限性を活かしながら先進的なアート活動やパブリックアートなどが楽しめる場を充実させていきます。</p>	<p>〔方針3〕</p> <p>★都心ならではの文化的な風景を楽しめるよう、江戸からの歴史ある祭りや古書店街などの界隈の個性を際立たせる生業の風景、クリエイティブな活動を楽しめる場を継承・充実させていきます。</p>	(4)部会-2

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
3章 テーマ3	69	〔方針図② 地域、界隈の個性・魅力の継承と創造〕 〔千代田区の個性ある界隈〕 ⑦ 楽器店街 ⑧ 学生街 ⑨ 医療機関の集積地 ⑩ 飲食店街	〔方針図② 地域、界隈の個性・魅力の継承と創造〕 〔千代田区の個性ある界隈〕 ⑦ 飲食店街 ⑧ 学生街 ⑨ 医療機関の集積地	(1)聴取-59・ 60・61・62
第3章 テーマ4	75	〔(3) これからのまちづくりの視点・論点〕 ○区境を越えた周辺とのアクセスや回遊、区全体と地区内の移動・交通のマネジメント	〔(3) これからのまちづくりの視点・論点〕 ○区外とのアクセスや回遊、区全体と地区内の移動・交通のマネジメント	(4)議会-11
第3章 テーマ4	78	〔方針4〕 ★自転車走行空間や自転車等駐車場の整備など自転車走行環境の向上を図ります。	〔方針4〕	(3)交換-14・ 15
第3章 テーマ4	79	〔方針図〕 拠点と都市骨格軸を基本として多様な都心の活動を支える移動空間 地下鉄駅とまちをつなぐ通路等について、虎ノ門駅南、日比谷駅付近を調整、楽器店街を追加	〔方針図〕 拠点と都市骨格軸を基本として多様な都心の活動を支える移動空間	(1)聴取-5・ 59・60・61・ 62
第3章 テーマ4	84	〔4 他テーマとの連携〕 〔テーマ7〕 ○EVやPHV（プラグインハイブリッド自動車）等ZEV（ゼロエミッション車）の充電設備の普及、駐車場等の充電ネットワーク、FCV（水素燃料自動車）のための水素ステーションなど、環境負荷の少ない次世代自動車等の普及促進と利用環境整備	〔4 他テーマとの連携〕 〔テーマ7〕 ○EVやハイブリッド自動車、駐車場等の充電ネットワークなど、環境負荷の少ない次世代自動車等の普及促進と利用環境整備	(3)交換-16 (4)その他-3
第3章 テーマ6	93	〔イラストの文字〕 協助	〔イラストの文字〕 共助	(4)部会-12
第3章 テーマ6	93	〔歴史・文化がつながる〕 ◇大規模災害時の生活や業務機能の継続性を確保したマンションや中小の事務所建築物	〔歴史・文化がつながる〕 ◇大規模災害時の生活の継続性を確保したマンションや中小の事務所建築物	(4)部会-13

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第3章 テーマ6	93	〔あらゆる情報でつながる〕 ◇デジタル技術等を活用し、様々な災害リスクに対応できる対策・訓練、復興事前準備 ◇ICT・環境などの先端的技術の活用で、エネルギー確保など災害時の自立性・継続性が確保された業務継続地区・エリア防災ビル ◇大規模災害時に建物に残留する住民や就業者、屋外の帰宅困難者を考慮し、的確に伝達され、誘導できる情報プラットフォーム	〔あらゆる情報でつながる〕 ◇地震・水害などのリスクやひとの多様性を考慮して、事前準備や対策・訓練が進むまち ◇ICTや環境などの先端的な技術で、災害時の最適なエネルギーや自立性・継続性が確保された業務継続地区・エリア防災ビル ◇災害時に建物に残留する住民や就業者、屋外の帰宅困難者を考慮し、的確に伝達され、誘導できる情報	(1)聴取-3・23・24・26・106
第3章 テーマ6	95	〔(3) これからのまちづくりの視点・論点〕 ○新たな感染症にも配慮した防災都市づくり	〔(3) これからのまちづくりの視点・論点〕	(1)聴取-28・30・106
第3章 テーマ6	95	〔(4) これからのまちづくりの課題〕 また、地域ごとに防災隣組などでの訓練や対策が行われていますが、～(省略)～計画策定には至っていません。 さらに、新型コロナなど感染症蔓延と地震災害・水害などの複合災害への対応も必要です。	〔(4) これからのまちづくりの課題〕 また、地域ごとに防災隣組などでの訓練や対策が行われていますが、～(省略)～計画策定には至っていません。	(1)聴取-28・30・31・106
第3章 テーマ6	96	〔○災害に対する脆弱性を踏まえた防災対策〕 千代田区は建物の不燃化が進み、都内で比較すると災害危険度は低いとされていますが、細街路で区分された街区に小規模で老朽化した建物が多いエリアが残っています。感染症との複合災害の可能性を踏まえ、耐震化の促進やエネルギーの自立分散化など、在宅避難の安全性を高める取り組みや、身近なオープンスペースの整備をさらに推進する必要があります。 また、河川氾濫時や高潮発生時に浸水が想定されるエリアがあるなど、水害などの災害リスクに応じて、被害を軽減するための防災対策を進めることが求められています。	〔○災害に対する脆弱性を踏まえた防災対策〕 千代田区は建物の不燃化が進み、都内で比較すると災害危険度は低いとされていますが、細街路で区分された街区に小規模で老朽化した建物が多いエリアが残っています。 また、河川氾濫時に浸水が想定されるエリアがあるなど、水害などの災害リスクに応じて、被害を軽減するための防災対策を進めることが求められています。	(1)聴取-27・28・29・30・31・106

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第3章 テーマ6	97	〔方針1〕 ★都市の復興が迅速・円滑に進めるため、土地境界の明確化に向けて地籍調査を計画的に推進していきます。	〔方針1〕	(4)その他-4
第3章 テーマ6	97	〔方針2〕 ★災害時における地域の拠点機能を有するオープンスペースを創出し、防災機能の強化を図ります。 ★災害発生時に区内に集積する教育機関や企業などの施設等を活用できる～（省略）～協力の体制を強化していきます。 ★高層の集合住宅などの増加を踏まえて～（省略）～対策を促進します。 ★新たな感染症との複合災害も想定し、開発諸制度などを活用する建築・開発にあっては、地域の在宅避難を支援する災害時の拠点機能の実装を誘導します。 ★的確な情報提供体制の構築など、マンションにおける協働体制づくりを進めます。	〔方針2〕 ★災害発生時に区内に集積する教育機関や企業などの施設等を活用できる～（省略）～協力の体制を強化していきます。 ★高層の集合住宅などの増加を踏まえて～（省略）～対策を促進します。	(1)聴取-28・30・31・106 (2)公述-16
第3章 テーマ6	101	〔主体別の取組み 行政〕 ◇デジタル技術などを活用した被災想定	〔主体別の取組み 行政〕	(1)聴取-106
第3章 テーマ7	103	〔未来・世界へとつながる〕 ◇環境負荷の少ない交通手段としてのゼロエミッション・ビークル（ZEV）	〔未来・世界へとつながる〕	(3)交換-16
第3章 テーマ7	104	〔（2）これまでのまちづくりの主な取組み・成果〕 ○エネルギーの自立化・効率化につながり、二酸化炭素排出量の削減につながるコジェネレーションシステムが普及しています。	〔（2）これまでのまちづくりの主な取組み・成果〕	(1)聴取-34 (4)部会-14

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第3章 テーマ7	105	〔○地域の特性に応じた既存のエネルギー基盤、未利用・再生可能エネルギーなどの活用〕 土地の高度利用が進み、エネルギー消費の～（省略）～継続性確保も想定し、地域冷暖房システム、コジェネレーションシステムなど、既に整備されているエネルギー基盤の活用を拡大していくことが求められています。	〔○地域の特性に応じた既存のエネルギー基盤、未利用・再生可能エネルギーなどの活用〕 土地の高度利用が進み、エネルギー消費の～（省略）～継続性確保も想定し、地域冷暖房システムなどの既に整備されているエネルギー基盤の活用を拡大していくことが求められています。	(1)聴取-34
第3章 テーマ7	106	〔方針2〕 ★拠点における複数の連坦した開発や規模の大きい開発に際しては、快適な室内環境の実現とあわせて、消費する一次エネルギーの年間収支（省エネルギー・創エネルギー）をゼロに抑える建築物（ZEB）、エネルギーの面的利用などの計画を進め、脱炭素を進めながら都心の快適な環境をつくっていきます。	〔方針2〕 ★拠点における複数の連坦した開発や規模の大きい開発に際しては、快適な室内環境の実現とあわせて消費する一次エネルギーの年間収支（省エネルギー・創エネルギー）をゼロに抑える建築物（ZEB などの計画を進め、脱炭素を進めながら都心の快適な環境をつくっていきます。	(4)部会-14
第3章 テーマ7	107	〔方針3〕 ★地域冷暖房やコジェネレーションシステムなどにより、エネルギーの自立化・高効率化に向けた面的エネルギー利用を進めていきます。	〔方針3〕 ★地域冷暖房やコジェネレーションシステムなどにより、面的エネルギー利用を進めていきます。	(4)部会-14
第3章 テーマ7	110	〔企業〕 ◇建築・開発における既存の地域冷暖房システムなどへの接続、コジェネレーションシステムの導入	〔企業〕 ◇建築・開発における既存の地域冷暖房システムなどへの接続	(1)聴取-35
第3章 テーマ7	111	〔4 他テーマとの連携〕 〔テーマ4〕 ○EVやPHV（プラグインハイブリッド自動車）等ZEV（ゼロエミッション車）の充電設備の普及、駐車場等の充電ネットワーク、FCV（水素燃料自動車）のための水素ステーションなど、環境負荷の少ない次世代自動車等の普及促進と利用環境整備	〔4 他テーマとの連携〕 〔テーマ4〕 ○EVやハイブリッド自動車、駐車場等の充電ネットワークなど、環境負荷の少ない次世代自動車等の普及促進と利用環境整備	(3)交換-16 (4)その他-3

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第 4 章	114	<p>〔7つの地域区分〕</p> <p>第2章で示した将来像を実現するために、首都東京における広域的役割を踏まえ、皇居を中心に以下の3つの基本エリアを設定し、また、一定の広がりでもちづくりの機運や連携の可能性が高まっているエリアを戦略的先導地域として位置付けています。</p> <p>さらに、それぞれのまちの成り立ちや個性、境界の魅力などの違いを活かしていくため、千代田区を以下の7地域に区分し、第3章のテーマ別まちづくりの方針を踏まえた地域別の将来像・方針を示します。</p> <p>※各エリア及び戦略的先導地域の概要は38～40頁参照</p>	<p>〔7つの地域区分〕</p> <p>第2章で示した将来像を実現するために、千代田区を7地域に区分し、各地域の特徴や課題を捉えながら、第3章のテーマ別まちづくりの方針を踏まえ地域別の将来像・方針を示します。</p>	(4)議会-1
第 4 章 麴町・番町	123	<p>〔(2)継承と進化の方向性〕</p> <p>○落ち着いた住宅地の継承と多世代が住み続けられる環境の充実</p> <p>ファミリー層・子どもの増加と高齢化が同時に進む中で、暮らしを支える生活利便施設の充実が求められています。新型コロナウイルス感染症を契機とした人々の価値観の変化に対応するとともに、中層・中高層の落ち着いた街並みを継承し、住み、働くひとのライフ・ワークスタイルを～(省略)～を充実させていくことが重要です。</p>	<p>〔(2)継承と進化の方向性〕</p> <p>○落ち着いた住宅地の継承と多世代が住み続けられる環境の充実</p> <p>ファミリー層・子どもの増加と高齢化が同時に進む中で、暮らしを支える生活利便施設の充実が求められています。落ち着いた街並みを継承し、住み、働くひとがライフスタイル、ワークスタイルを～(省略)～充実させていくことが重要です。</p>	(1)聴取-42・53・106
第 4 章 麴町・番町	123	<p>〔(2)継承と進化の方向性〕</p> <p>○大きな緑と水辺がつくる快適な環境の拡大と身近な緑・空間の充実</p> <p>生活に身近な場所で、誰もが利用できる心地よい空間や、親子で安心して過ごせる居場所を充実させ、～(省略)～まちに広げていくことが重要です。また、感染症予防に向けた「新たな日常」に対応するため、身近な緑・オープンスペースの充実を図ることも必要です。</p>	<p>〔(2)継承と進化の方向性〕</p> <p>○大きな緑と水辺がつくる快適な環境をまちに広げる空間の充実</p> <p>生活に身近な場所で、誰もが利用できる心地よい空間や、親子で安心して過ごせる居場所を充実させ、～(省略)～まちに広げていくことが重要です。</p>	(1)聴取-44・49 (2)公述-25

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 麴町・ 番町	123	<p>〔（2）継承と進化の方向性〕</p> <p>○機能更新に伴う防災性能・環境性能が高い建築物や設備などの誘導</p> <p>建物の機能更新にあたって、耐震化、緑化やエネルギーの効率化・自立化、水循環、雨水浸透など、都市環境の形成に資する建築計画や設備の導入を進めていくことが求められます。</p>	<p>〔（2）継承と進化の方向性〕</p> <p>○機能更新に伴う環境性能の高い建築物や設備などの誘導</p> <p>建物の機能更新にあたっては、緑化や省エネルギー・創エネルギー、水循環、雨水浸透など、都市環境の形成に資する建築計画や設備の導入を進めていくことが求められます。</p>	(1)聴取-40
第4章 麴町・ 番町	127	<p>〔a 環境創造軸（外濠、内濠）〕</p> <p>◇外濠の歴史的資源を活かすとともに、水質改善を進め、住み、働く人々に癒しを与える居心地がよく、感染症予防にも対応できる身近な水辺のオープンスペースとしての価値を向上させていきます。</p>	<p>〔a 環境創造軸（外濠、内濠）〕</p>	(4)その他-5
第4章 麴町・ 番町	128	<p>〔a エリア回遊軸〕</p> <p>◇番町中央通りは、住宅地のたたずまいにふさわしい、緑豊かでのまちの回遊を楽しめる豊かな歩行空間や、安らぎ、憩える空間が充実した道路としていきます。（以降削除）</p> <p>◇大妻通り・半蔵門駅通りは、既存の商店街を活かしながら、歩いて楽しく、滞留性を持たせた快適な歩行空間づくりを進めます。（以降削除）</p>	<p>〔a エリア回遊軸〕</p> <p>◇番町中央通りは、住宅地のたたずまいにふさわしい、緑豊かでのまちの回遊を楽しめる豊かな歩行空間や、安らぎ、憩える空間が充実した道路としていきます。また、沿道は中高層階に住宅を誘導していきます。</p> <p>◇大妻通り・半蔵門駅通りは、既存の商店街を活かしながら、歩いて楽しく、滞留性を持たせた快適な歩行空間づくりを進めます。このうち、大妻通り沿道は街並みを整えながら、中高層階に住宅を誘導していきます。</p>	(4)部会-15

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 飯田橋・ 富士見	135	<p>〔（2）継承と進化の方向性〕 ○皇居から外濠に続く緑・水辺とまちのつながりを強め、憩える空間、遊べる空間の充実</p> <p>内濠・外濠とその周辺の緑や眺望の保全や外濠の～（省略）～改善や空間活用が重要です。更に、開発等にあわせて、濠や日本橋川等とつながる空間や身近なオープンスペースを創出し、心地よい環境をまちに広げ、多様なひとが憩え、子どもが遊べることができ、感染症予防に向けた「新たな日常」にも対応できる場所の充実が重要です。</p>	<p>〔（2）継承と進化の方向性〕 ○皇居から外濠に続く緑・水辺とまちのつながりを強め、憩える空間、遊べる空間の充実</p> <p>内濠・外濠とその周辺の緑や眺望の保全とともに、外濠の～（省略）～改善や空間活用を進めることが重要です。更に、開発や建物の更新にあわせて、皇居や内濠、外濠、外濠公園、日本橋川等とつながる空間を創出することで、心地よい環境をまちに広げ、多様なひとが憩える場所や子どもが遊べる場所などを充実させていくことが重要です。</p>	(1)聴取-106 (2)公述-39
第4章 飯田橋・ 富士見	139	<p>〔a 環境創造軸（皇居、北の丸公園、靖國神社、外濠緑地、外濠）〕</p> <p>◇外濠の歴史的資源を活かすとともに、水質改善を進め、住み、働く人々に癒しを与える居心地がよく、感染症予防にも対応できる身近な水辺のオープンスペースとしての価値を向上させていきます。</p>	<p>〔a 環境創造軸（皇居、北の丸公園、靖國神社、外濠緑地、外濠）〕</p>	(4)その他-5
第4章 神保町	147	<p>〔（2）継承と進化の方向性〕 ○まちとひとつをつなげる空間活用と公共空間と一体となった緑化</p> <p>街区の機能更新の際に、ひとが歩く地上レベルで、開放的な空地や屋内のスペース、身近な緑を増やすとともに、清潔で居心地がよく、利用しやすいデザインとすることで、様々なイベントや活動に活かせるようにしていくことが重要です。これは、感染症予防に向けた「新たな日常」に対応するためにも必要であるといえます。また、まちにゆとりを実感できる～（省略）～潤いを感じる街並みを形成していくことも重要です。</p>	<p>〔（2）継承と進化の方向性〕 ○まちとひとつをつなげる空間活用と公共空間と一体となった緑化</p> <p>街区の機能更新の際に、ひとが歩く地上レベルで、開放的な空地や屋内のスペース、緑を増やすとともに、清潔で居心地がよく、利用しやすいデザインとすることで、様々なイベントや活動に活かせるようにしていくことが重要です。まちにゆとりを実感できる～（省略）～潤いを感じる街並みを形成していくこと重要です。</p>	(1)聴取-106

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 神保町	149	〔① 神田駿河台一・二丁目〕 ◇バリアフリー化のための御茶ノ水駅の全面改良を契機として、御茶ノ水橋口を起点に、医療機関が集積するエリアや学生街、神保町駅周辺、水道橋駅周辺、 万世橋周辺 につながる安全で歩きやすいみちをつくっていきます。	〔① 神田駿河台一・二丁目〕 ◇バリアフリー化のための御茶ノ水駅の全面改良を契機として、御茶ノ水橋口を起点に医療機関が集積するエリアや学生街、神保町駅周辺、水道橋駅周辺につながる安全で歩きやすいみちをつくっていきます。	(1)聴取-63・64
第4章 神保町	152	〔d エリア回遊軸（千代田通り、明大通り、 お茶の水仲通り ）〕 ◇ お茶の水仲通りは、御茶ノ水駅と靖国通りをつなぐ軸として、沿道の空地や歩道状空地、緑が連続し、一体となって心地よく歩ける移動環境を創出します。また、靖国通り以南の開発動向を踏まえ、賑わいや交流の連携が神田警察通り、大手町へと広がり、広域的な回遊軸としての魅力が高まるよう検討していきます。	〔d エリア回遊軸（千代田通り、明大通り）〕	(4)部会-9
第4章 神田公園	159	〔（2）継承と進化の方向性〕 ○下町の高密な市街地における居心地のよい高質な空間と緑の創出 日本橋川の水辺、神田警察通り沿道、神田駅周辺において、 <u>～（省略）～</u> つながる軸を形成していくことは、 感染症予防に向けた「新たな日常」に対応するためにも重要です。	〔（2）継承と進化の方向性〕 ○下町の高密な市街地における居心地のよい高質な空間と緑の創出 日本橋川の水辺、神田警察通り沿道、神田駅周辺において、 <u>～（省略）～</u> つながる軸を形成していくことが重要です。	(1)聴取-106
第4章 神田公園	162	〔④ 神田錦町一・二・三丁目〕 ◇神田警察通り沿道のうち、千代田通りと白山通りの間では、落ち着きや風格ある景観を形成し、穏やかな賑わいが感じられるよう、 環境性能の高い 建築・開発や多くのひとが憩えるオープンスペース、緑などの創出を通じて、都心生活の質を高める環境をつくっていきます。	〔④ 神田錦町一・二・三丁目〕 ◇神田警察通り沿道のうち、千代田通りと白山通りの間では、落ち着きや風格ある景観を形成し、穏やかな賑わいが感じられるよう、エネルギー消費の少ない建築・開発や多くのひとが憩えるオープンスペース、緑などの創出を通じて、都心生活の質を高める環境をつくっていきます。	(1)聴取-71
第4章 神田公園	163	〔a 環境創造軸（日本橋川沿い）〕 ◇ 大手町エリアと神田エリアの結節点として、回遊性の向上を図るとともに、環境に配慮したまちづくりを進めます。	〔a 環境創造軸（日本橋川沿い）〕	(1)聴取-86・89 (2)公述-47

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 神田公園	163	〔b 都市機能連携軸（靖国通り、中央通り、本郷通り、白山通り）〕 ◇白山通りは～（省略）～回遊性と滞留性を持たせた快適な歩行空間をつくり、 緑の骨格として 重点的な緑化を進めます。	〔b 都市機能連携軸（靖国通り、中央通り、本郷通り、白山通り）〕 ◇白山通りは～（省略）～回遊性と滞留性を持たせた快適な歩行空間をつくり、重点的な緑化を進めます。	(1)聴取-66
第4章 神田公園	164	〔c エリア回遊軸（神田警察通り、千代田通り、神田公園地域と大手町の連携軸、 区道 495 号 ）〕 ◇ 区道 495 号は、靖国通りと神田警察通りをつなぐ軸として、お茶の水通りや大手町との広域的な連携を意識しながら、緑やオープンスペース、賑わい、交流のつながりを強める滞留性を持たせた快適な歩行空間づくりを進めます。	〔c エリア回遊軸（神田警察通り、千代田通り、神田公園地域と大手町の連携軸）〕	(4)部会-9
第4章 万世橋	171	〔（2）継承と進化の方向性〕 ○神田川の水辺を軸にしたまちのアメニティの向上 感染症予防に向けた「新たな日常」に対応するためにも、神田川の水辺を軸にして、～（省略）～神田明神や神田駿河台の緑にもつなげていくことが重要です。	〔（2）継承と進化の方向性〕 ○神田川の水辺を軸にしたまちのアメニティの向上 神田川の水辺を軸にして、～（省略）～神田明神や神田駿河台の緑にもつなげていくことが重要です。	(1)聴取-106
第4章 万世橋	174	〔③ 外神田一・三・四丁目〕 秋葉原駅周辺の拠点と中高層を基本とする複合市街地が連携・協調して、万世橋の歴史性や 電気街の文化 、次世代の先端性、高質なアメニティを感じられる魅力を育て、世界の人々から愛されるまちをつくります。	〔③ 外神田一・三・四丁目〕 秋葉原駅周辺の拠点と中高層を基本とする複合市街地が連携・協調して、万世橋の歴史性や次世代の先端性、高質なアメニティを感じられる魅力を育て、世界の人々から愛されるまちをつくります。	(2)公述-56・57
第4章 万世橋	174	〔③ 外神田一・三・四丁目〕 ◇世界から訪れる人々を 惹きつける、電気街としての固有の文化や次世代のアートやカルチャー、先端技術が融合した活力と魅力 にあふれるまちづくりを進めます。	〔③ 外神田一・三・四丁目〕 ◇世界から訪れる人々に次世代のアートやカルチャー、先端技術を感じさせる活力と魅力にあふれるまちづくりを進めます。	(2)公述-56・57

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 万世橋	175	<p>〔⑤ 神田駿河台一（一部）・三・四丁目〕</p> <p>◇バリアフリー化のための御茶ノ水駅の全面改良を契機として、御茶ノ水橋口を起点に、医療機関が集積するエリアや学生街、神保町駅周辺、水道橋駅周辺、万世橋周辺につながる安全で歩きやすいみちをつくっていきます。</p> <p>◇御茶ノ水駅の交通結節点としての機能を充実させ～（省略）～街区が連携・協調した機能更新を進めていきます。</p> <p>◇明大通り沿道の楽器店街や隣接する神田小川町のスポーツ用品店街、神保町地域の書店街を～（省略）～楽しく歩けるまちをつくれます。</p> <p>◇教育施設は～（省略）～機能更新を図ります。</p> <p>◇神田川からつながる自然度の高い空間やニコライ堂を眺める視点場など～（省略）～建築・空間のデザインを進めます。</p> <p>◇大規模災害時に地域の医療機関が十分役割を果たせるよう、アクセス道路沿道の建築物の耐震化を進め、医療活動に活用できる空間を充実させていきます。</p>	<p>〔⑤ 神田駿河台一（一部）・三・四丁目〕</p> <p>◇御茶ノ水駅の交通結節点としての機能を充実させ～（省略）～街区が連携・協調した機能更新を進めていきます。</p> <p>◇隣接する神田小川町のスポーツ用品店街や神保町地域の書店街を～（省略）～楽しく歩けるまちをつくれます。</p> <p>◇教育施設は～（省略）～機能更新を図ります。</p> <p>◇神田川からつながる自然度の高い空間やニコライ堂を眺める視点場など～（省略）～建築・空間のデザインを進めます。</p>	(1)聴取-59・60・61・62・64・65
第4章 万世橋	176	<p>〔c エリア回遊軸（お茶の水仲通り）〕</p> <p>近接する拠点や駅、個性ある界隈をつなぎ、日常の移動経路として利用されるだけでなく、統一感のある街並みを基盤とし、沿道における休憩スペースやコミュニティサイクルのポートをはじめ、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させていきます。</p> <p>◇お茶の水仲通りは、御茶ノ水駅と靖国通りをつなぐ軸として、沿道の空地や歩道状空地、緑が連続し、一体となって心地よく歩ける移動環境を創出します。また、靖国通り以南の開発動向を踏まえ、賑わいや交流の連携が神田警察通り、大手町へと広がり、広域的な回遊軸としての魅力が高まるよう検討していきます。</p>		(4)部会-9

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 和泉橋	183	<p>〔(2) 継承と進化の方向性〕</p> <p>○神田川・靖国通りを軸とした居心地のよい空間の充実</p> <p>感染症予防に向けた「新たな日常」に対応するためにも、緑やオープンスペースの少ない街区で、ゆとりを感じられる身近な空間を増やしていく必要があります。～(省略)～街区内の空間を創出していくことが必要です。</p>	<p>〔(2) 継承と進化の方向性〕</p> <p>○神田川・靖国通りを軸とした居心地のよい空間の充実</p> <p>緑やオープンスペースの少ない街区で、ゆとりを感じられる身近な空間を増やしていく必要があります。～(省略)～街区内の空間を創出していくことが必要です。</p>	(1)聴取-106
第4章 和泉橋	184	<p>〔3 まちづくりの方針〕</p> <p>方針図の戦略的先導地域の範囲(茶斜線の区域)を40pの図にあわせて調整</p> 	<p>〔3 まちづくりの方針〕</p> 	(1)聴取-91・94
第4章 和泉橋	187	<p>〔⑤ 岩本町一・二・三丁目、東神田一・二丁目〕</p> <p>◇多様な住まい方を選択できる住宅の整備や良好な街並みの形成、安全で歩きやすい歩行空間や緑の潤いを感じる空間の確保などを進めていきます。</p> <p>◇清洲橋通り沿道などの立地を活かして、日常生活の利便性を高める店舗や、平日夜間・休日の生活の時間を豊かにする機能の充実を促進します。</p>	<p>〔⑤ 岩本町一・二・三丁目、東神田一・二丁目〕</p>	(1)聴取-93 (3)交換-35

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 大丸有永	196	〔(2) 継承と進化の方向性〕 ○「新しい日常」にも対応し、都心で働き、活動することの価値を一層高めるまちづくり 豊かな都市環境と利便性や充実した都市基盤、ゆとりある共用スペース等を備えた優良なオフィス空間などを活かし、新型コロナ危機後の「新しい日常」にも対応し、屋内外で柔軟で生産性が高まるような働き方や交流、新しいビジネスの発想ができるような空間のデザインを進めていくことが重要です。また、国際的なビジネスで活動するひとの居住や滞在・宿泊、教育、医療などの機能の充実が求められています。	〔(2) 継承と進化の方向性〕 ○都心で働き、活動することの価値を一層高めるまちづくり 豊かな都市環境と利便性、充実した都市基盤などの外部環境を活かし、屋内でも柔軟で生産性が高まるような働き方や交流、新しいビジネスの発想ができるような空間のデザインを進めていくことが重要です。また、国際的なビジネスで活動するひとの居住や滞在・宿泊、教育、医療などの機能の充実が求められています。	(1)聴取-106
第4章 大丸有永	199	〔③ 有楽町一（一部）・二丁目（一部）〕 ◇有楽町駅周辺の機能更新により、駅周辺の滞留空間や歩行者ネットワーク、商業、文化、観光交流など多様な機能の充実を図ります。駅東側の（地上・地下）広場や道路等の公共空間は、地方都市のプロモーションなど多様なイベントが展開できるよう活用を進めます。	〔③ 有楽町一（一部）・二丁目（一部）〕 ◇有楽町駅前の広場（地上・地下）や道路等の公共空間などにおいて、地方都市の特産物の物販等による交流や多様なイベントなどが楽しめる活用を進めていきます。	(4)その他-7
第4章 大丸有永	200	〔④ 有楽町一（一部）・二丁目（一部）、内幸町一・二丁目〕 ◇東京高速道路（KK線）の緑の空中回廊化による再生との連携を図ります。	〔④ 有楽町一（一部）・二丁目（一部）、内幸町一・二丁目〕	(4)その他-8
第4章 大丸有永	200	〔⑤ 皇居外苑、日比谷公園〕 ◇日比谷公園ランドデザインや皇居外苑利用の在り方検討を踏まえて、外苑、公園周辺の道路のあり方やまちとの連携について検討していきます。 ◇日比谷公園は、周囲のまちとの一体性・回遊性を強化し、相乗的に新たな魅力を生み出す公園としていきます。	〔⑤ 皇居外苑、日比谷公園〕 ◇皇居外苑内の内堀通りは、皇居外苑全体との一体性を踏まえてあり方を検討していきます。	(4)その他-8

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第4章 大丸有永	200	<p>〔⑥ 永田町一（一部）・二丁目（一部）、霞が関一・二・三丁目（一部）〕</p> <p>◇官公庁施設の機能更新に際しては、官民連携などの手法を活用しながら良好な環境の保全・創出や都心居住に向けた利用を進めます。</p>	<p>〔⑥ 永田町一（一部）・二丁目（一部）、霞が関一・二・三丁目（一部）〕</p> <p>◇官公庁施設の機能更新に際しては、官民連携により、良好な環境の保全・創出や居住・宿泊、観光・交流、文化的活動などの複合的な機能の充実を進め、都心生活の魅力を高めていきます。</p>	(4)その他-9
第5章	204	<p>〔▼個々の力の結集と共創につなげるマネジメントのイメージ（図）〕</p> <p>「地域を支えているコミュニティ」に「マンション管理組合」を追加、「都心の多様な力の源泉」に「地域の子ども」を追加し「新たなマンション居住者」を「新たな居住者」に修正</p>	<p>〔▼個々の力の結集と共創につなげるマネジメントのイメージ（図）〕</p>	(1)聴取-44・100 (2)公述-64・65 (3)交換-36

章	頁	【新】 答申案	【旧】 改定素案	指摘
第 5 章	205	<p>〔（２）まちとまちづくりのマネジメント手法の確立〕 まちは「つくる」だけでなく、～（省略）～スマートに使いこなしていくことが重要です。</p> <p>千代田区のまちに関わるひとや大学等の～（省略）～まちとまちづくりのマネジメントの手法の具体化を進めていきます。</p> <p>一方で、こうしたエリアマネジメント活動にあっては、資金面や公共財産の活用などにおいて透明性が求められます。また、町会等既存の組織との連携や事業展開など、地域や界隈の個性が多様な千代田区においては、地域特性に応じた取り組みが必要となります。</p> <p>そこで、開発事業が契機となっているエリアマネジメントはもとより、地域の様々な主体が力をあわせて既成市街地におけるエリアマネジメントに取り組む手法などについても研究し、「（仮称）千代田区におけるエリアマネジメント推進ガイドライン」の策定に向けて検討していきます。</p>	<p>〔（２）まちとまちづくりのマネジメント手法の確立〕 まちは「つくる」だけでなく、～（省略）～スマートに使いこなしていくことが重要です。</p> <p>千代田区のまちに関わるひとや大学等の～（省略）～まちとまちづくりのマネジメントの手法の具体化を進めていきます。</p> <p>そして、開発事業が契機となっているエリアマネジメントはもとより、地域の様々な主体が力をあわせて既成市街地におけるエリアマネジメントに取り組む手法などについても検討し、具体化を進めていきます。</p>	<p>(1)聴取-52・101・103 (3)交換-20</p>